

図 3.5 大和川亜鉛検出状況

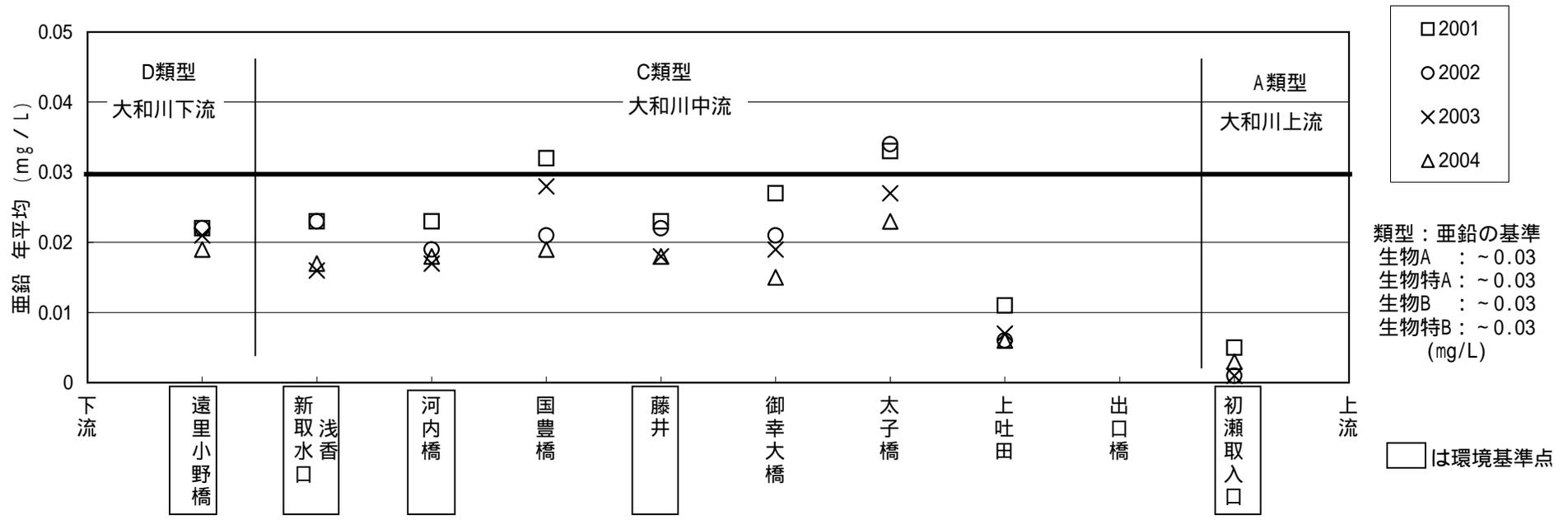


図3.6 亜鉛の水質縦断分布

出典：公共用水域の水質測定結果

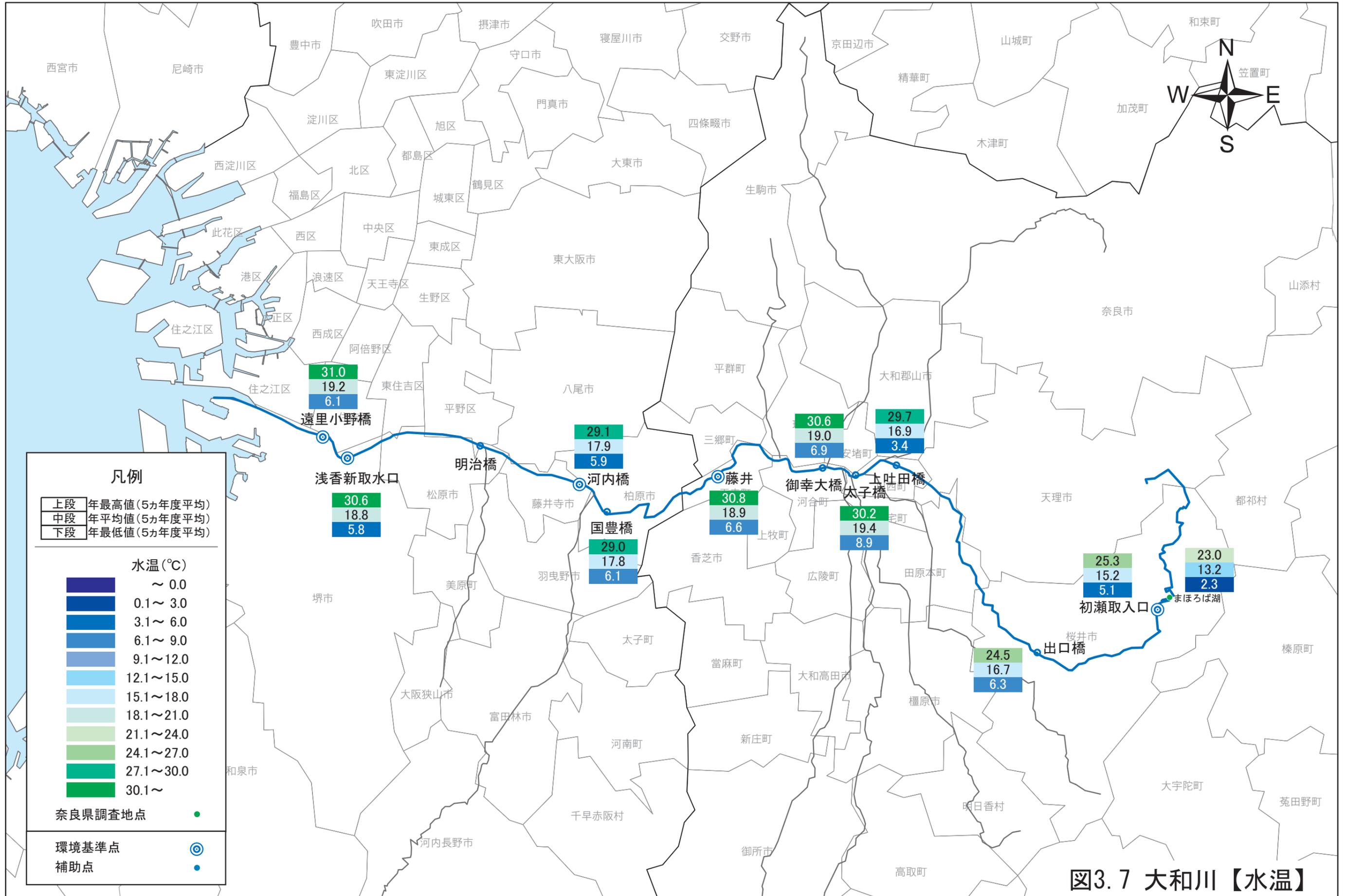
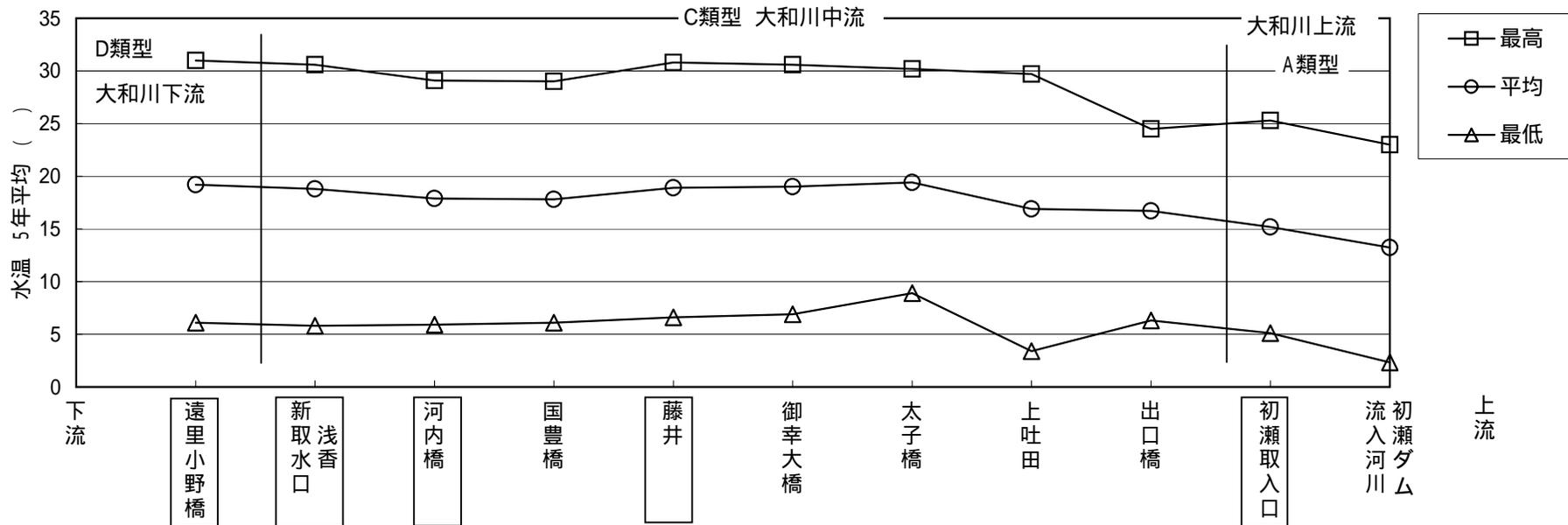


図3.7 大和川【水温】

公共用水域水質データ(平成11年~平成15年度)より
 奈良県資料(平成7年~平成16年平均)より



出典：公共用水域の水質測定結果
奈良県資料

最高、平均、最低は、平成11～15年度の公共用水域水質測定結果より、各年度において、月平均水温の年最高値、年平均値、年最低値を求め、5カ年でそれぞれ平均した値である。
一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

図3.8 水温の水質縦断分布

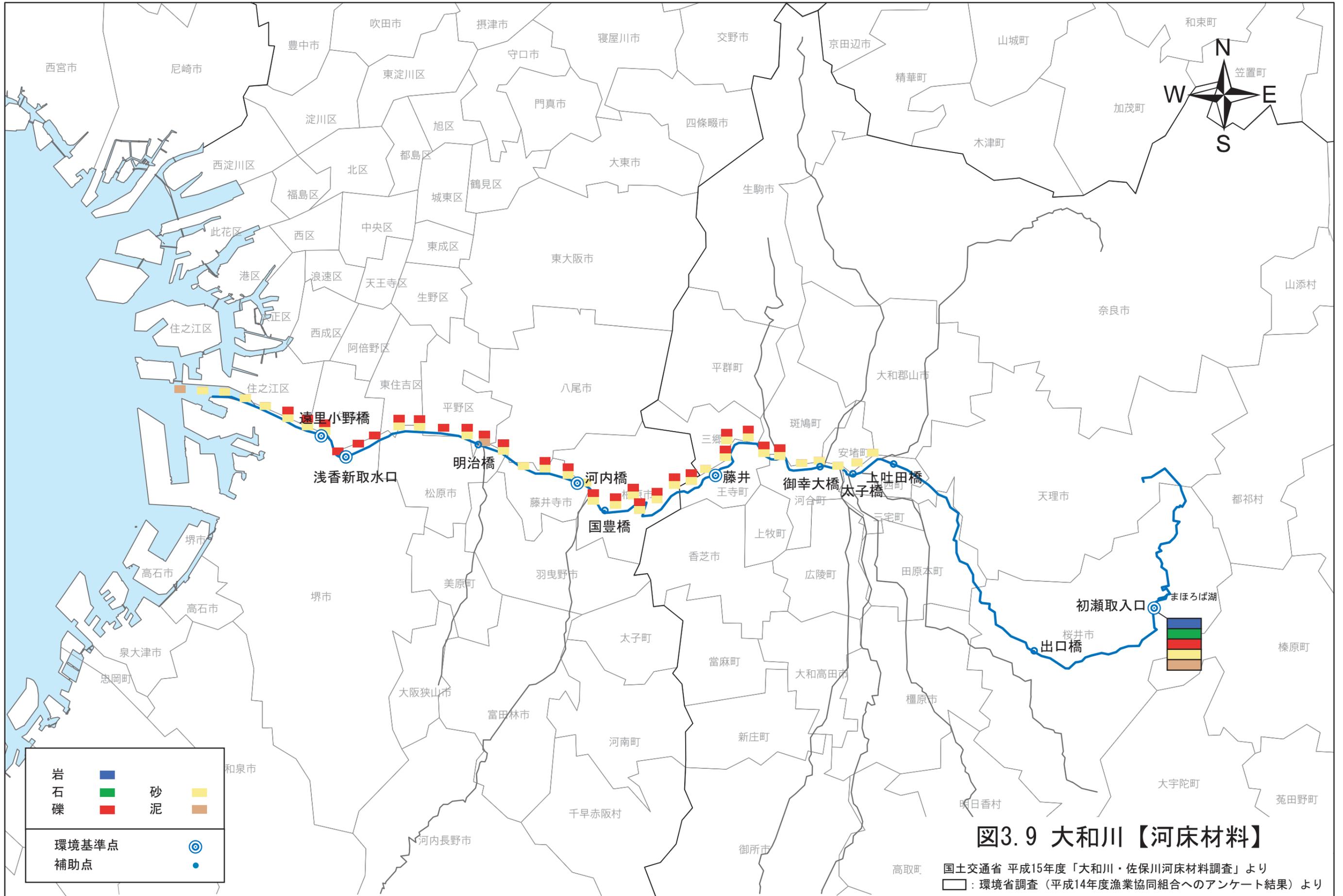


図3.9 大和川【河床材料】

国土交通省 平成15年度「大和川・佐保川河床材料調査」より
 □：環境省調査（平成14年度漁業協同組合へのアンケート結果）より

0 2 4 6 8 km

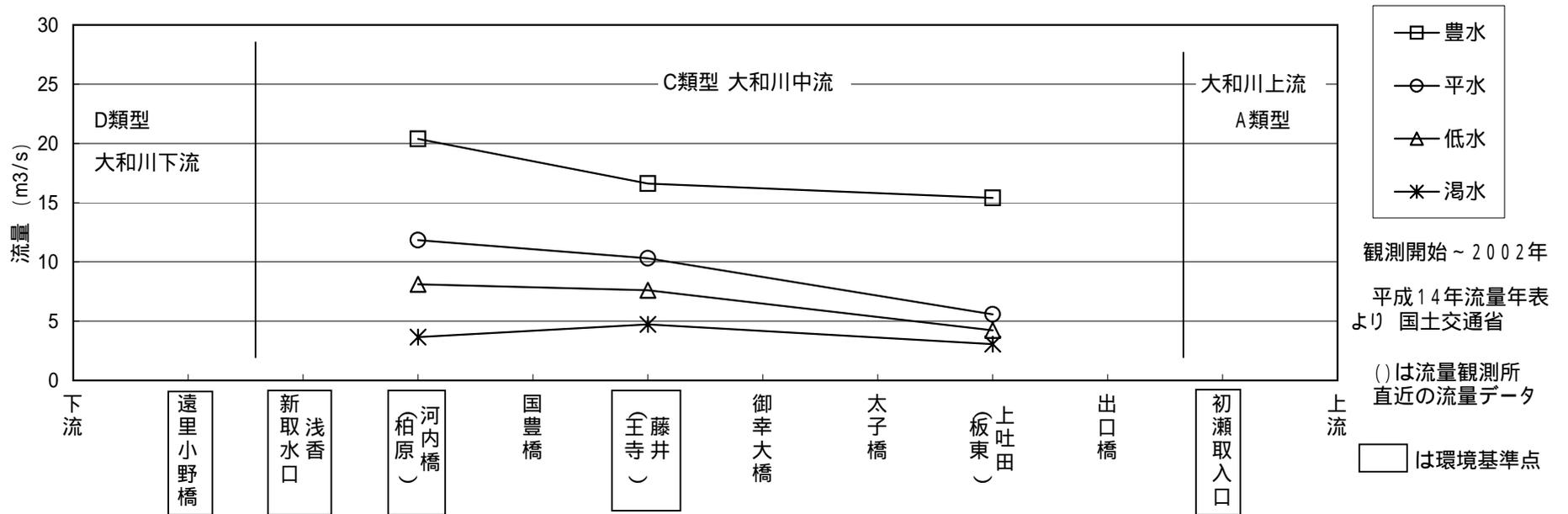


図3.10 流量の縦断分布

(国土交通省資料を基に環境省で作成)

大和川

河川横断工作物の凡例

- 堰、ダム、床固め…魚道有
- 堰、ダム、床固め…魚道無

潮止堰

柏原堰堤

4横川
0断久
以工保
上作井
物堰
等

2横初
0断瀬
以工ダ
上作ム
物等

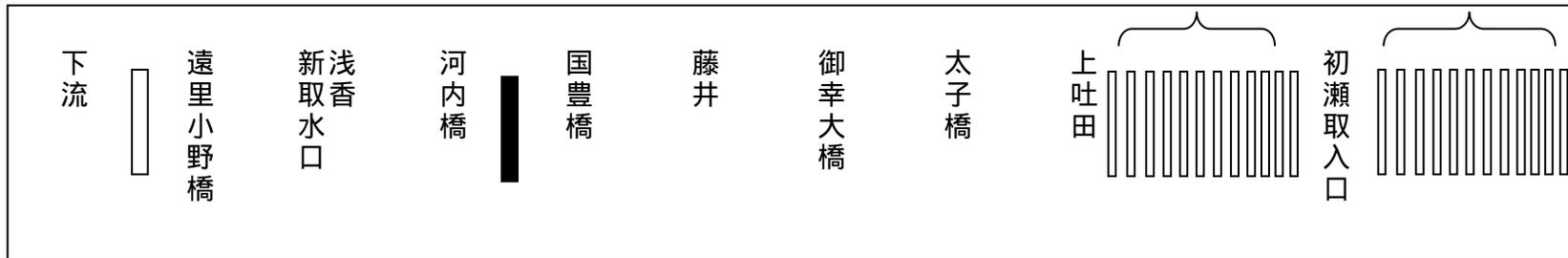


図3.11 主な河川横断工作物

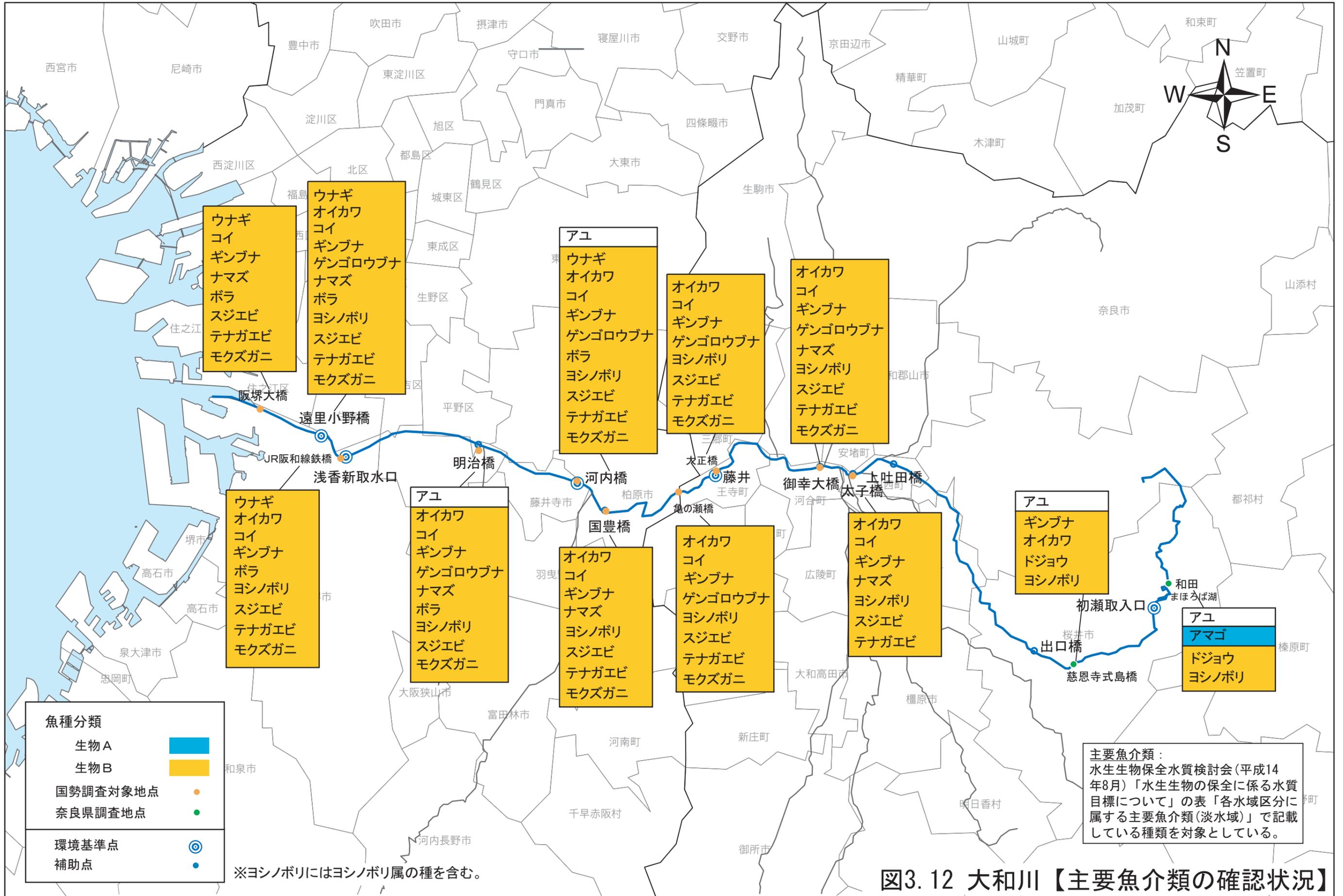


図3.12 大和川【主要魚介類の確認状況】

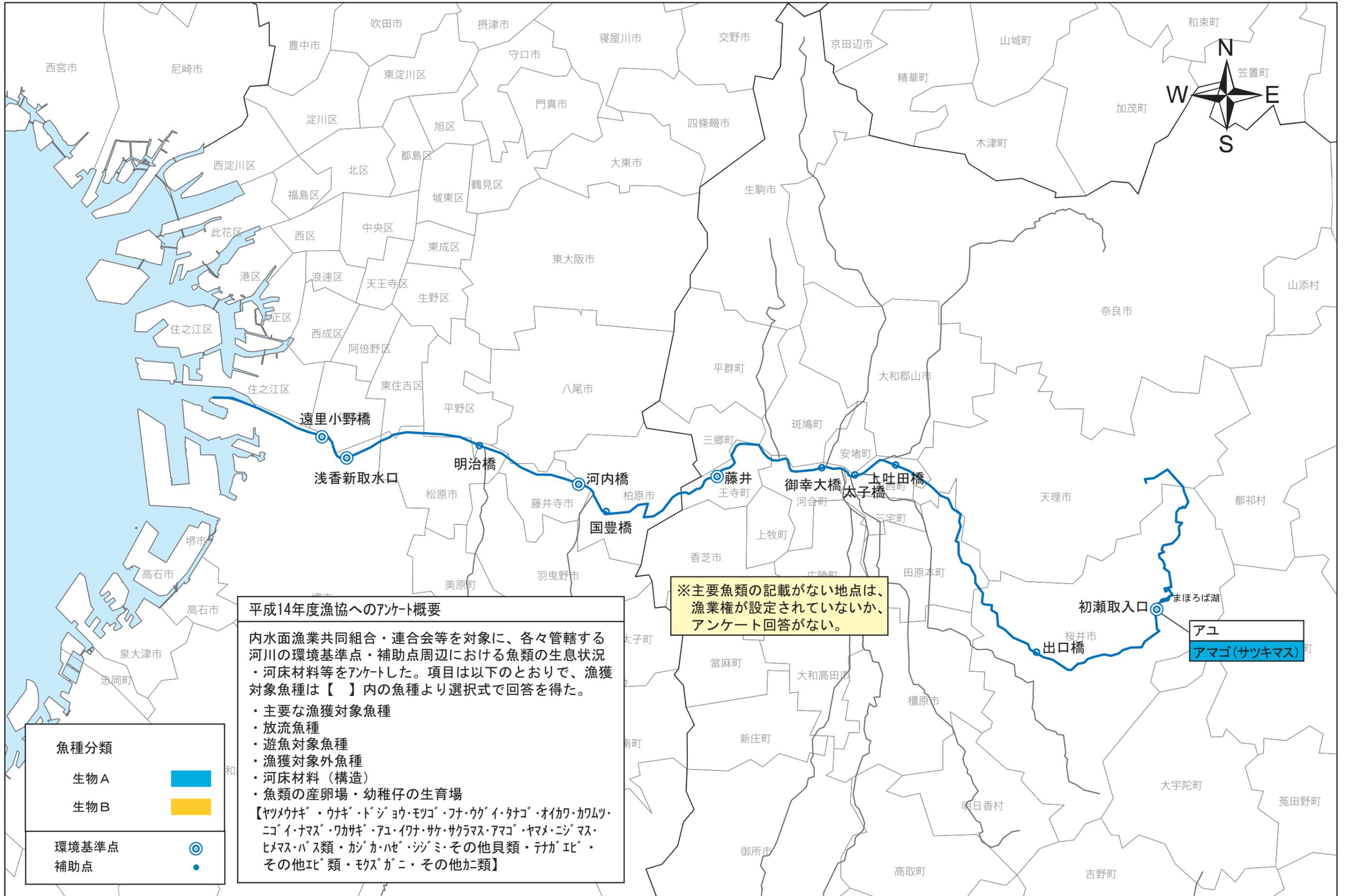
国土交通省 平成12年度「河川水辺の国勢調査」より
奈良県土木部河川課 平成6・12年度「河川水辺の国勢調査」より

表3.2 大和川魚介類の確認状況(既存調査結果)(2/2)

項目・分類・科・種名		調査地点		和田	慈恩寺式島橋	太子橋	御幸大橋	大正橋	亀の瀬橋	国豊橋	河内橋	明治橋	JR阪和線鉄橋	遠里小野橋	阪堺大橋
		ボラ科	セスジボラ												
その他	魚類	ボラ科	セスジボラ												
		ボラ科	メナダ												
		タイワンドジョウ科	カムルチー												
		スズキ科	スズキ												
		バス科	オオクチバス												
		バス科	ブルーギル												
		ハゼ科	カヨシノボリ												
		ハゼ科	ドンコ												
		ハゼ科	ヌマチチブ												
		ハゼ科	マハゼ												
	タウナギ科	タウナギ													

分類体系は山溪カラー名鑑日本の淡水魚(山と溪谷社,1989)・学研生物図鑑魚類(学習研究社,1983)・新日本動物図鑑(中)(北隆館,1965)等を参考とした。

データの出典: 奈良県、河川水辺の国勢調査、1994年3月・5月、2000年9月調査(和田、慈恩寺式島橋)
 調査機関・名称・年度 国土交通省、河川水辺の国勢調査、2000年度夏・秋調査



平成14年度漁協へのアンケート概要

内水面漁業共同組合・連合会等を対象に、各々管轄する河川の環境基準点・補助点周辺における魚類の生息状況・河床材料等をアンケートした。項目は以下のとおりで、漁獲対象魚種は【 】内の魚種より選択式で回答を得た。

- ・主要な漁獲対象魚種
- ・放流魚種
- ・遊魚対象魚種
- ・漁獲対象外魚種
- ・河床材料（構造）
- ・魚類の産卵場・幼稚子の生育場

【ヤツメナギ・ウナギ・ドジョウ・モツコ・フナ・ウグイ・ナガエビ・オイワ・カラムシ・コイ・ナマス・ワカサギ・アユ・イナ・サケ・サクラマス・アマゴ・ヤマメ・ニジマス・ヒメマス・バス類・ガジ・カハゼ・シジミ・その他貝類・テナガエビ・その他エビ類・モズガニ・その他ガニ類】

図3.13 大和川【主要魚介類の確認状況(アンケート)】

環境省調査（平成14年度漁業協同組合へのアンケート結果）より

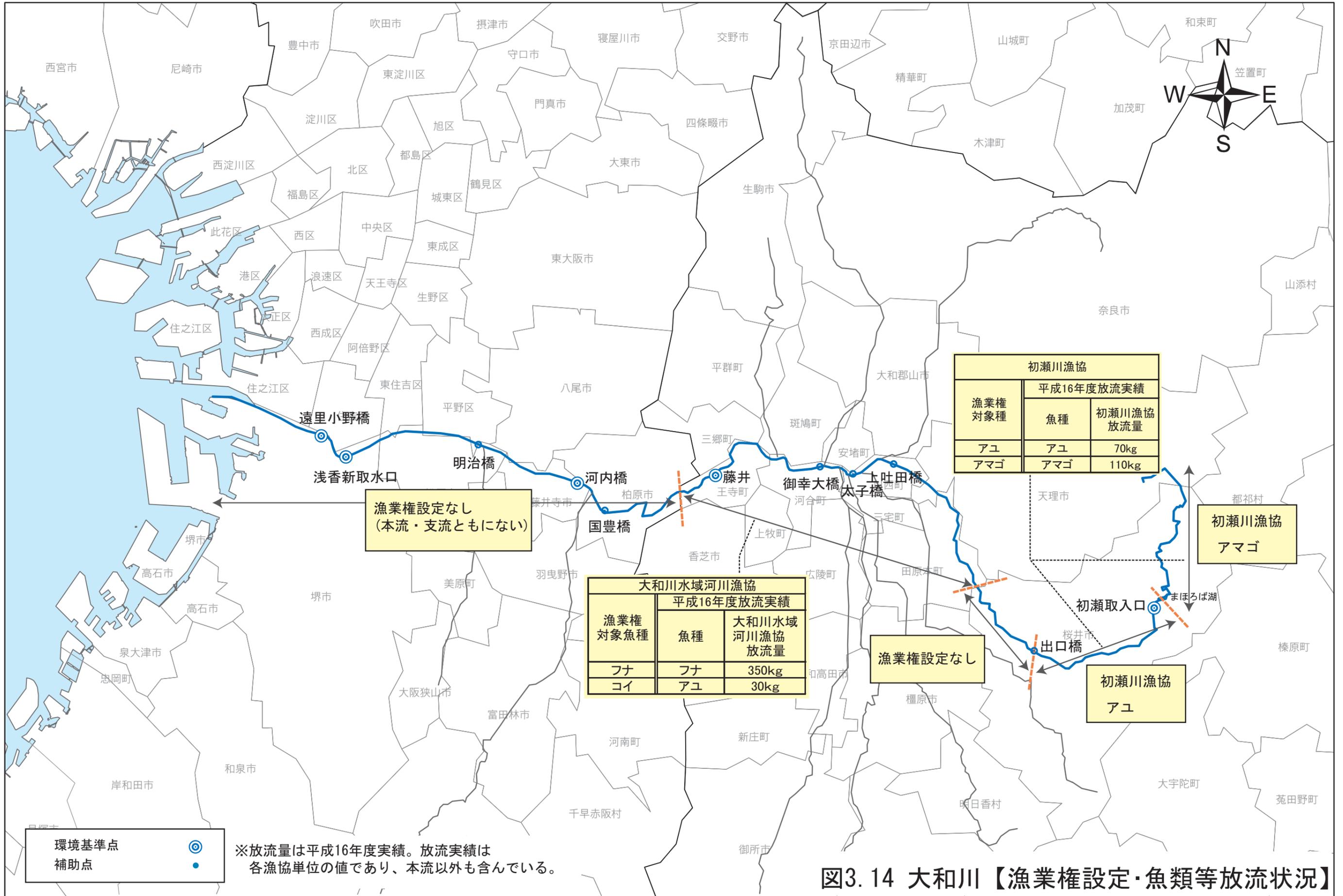


図3.14 大和川【漁業権設定・魚類等放流状況】

漁業権設定状況：奈良県資料より
平成16年度実績放流量：環境省調査（平成17年度奈良県・各漁業協同組合へのヒアリング調査）より